

平成30年7月31日

なかな

手もつなごう

第134号

発行所 岡山市中区古京町1-1-17

公益社団法人岡山県栄養士会

電話 086-273-6610

FAX 086-273-6667

HPアドレス

<http://okayama-eiyo.or.jp/>

E-mail

jimu@okayama-eiyo.or.jp

編集 なかま

編集委員会

印刷 西尾総合印刷㈱

このたびの西日本豪雨により被災された皆さまには
心よりお見舞い申し上げます。



備前県民局古京庁舎正面玄関と
5階事務局入り口の看板が
新しくなりました。

ご 挨拶

(公社)岡山県栄養士会 会長 坂本八千代



この度会長を務めさせていただくことになりました坂本です。医療事業部から研究教育に所属が変わり、患者様のことが気になり、臨床を恋しく思うこともあります。が、しかし、粉骨砕身とまではいきませんが頑張ります。

当会の活動目標は栄養士の資質向上を図り、県民の健康増進に関して調査研究及び指導を行うとともに、その施策へ積極的に寄与することです。岡山県においても第2次健康おかやま21セカンドステージへの取り組みが2018年から2022年の5年間と始まりました。ここで重要となるのが生活習慣病の一次予防と二次予防、さらには三次予防です。健康寿命を延ばす一次予防に栄養の指導は欠かせません。疾病を重症化しない二次予防、摂食嚥下訓練等の三次予防と、どの場面においても多様な対応が求められます。私たち管理栄養士・栄養士がその専門性を活か

し、わかりやすく寄り添い関わることが重要です。

生涯教育では適切な栄養計画を立て、モニタリングしながら解決方法に導く、栄養ケアプロセスを取り入れ栄養士・管理栄養士のミニマムスタンダードを身に付けるべく研修会を行っています。更には日本栄養士会から委託された研修会、岡山県から委託された研修会、各事業部が企画した研修会など魅力ある研修会を開催しています。当会の活動を支える研修会事業にぜひとも参加していただきスキルアップに努め、実際の活動に繋げていきましょう。

さて、管理栄養士・栄養士倫理綱領が平成26年6月23日に改訂されました。そして検討が進められてきた栄養士法の改正に向けて具体的に動き始めました。日本栄養士会のホームページもご覧ください。様々な課題を抱えていますが、健康管理に気を付け、会員の皆さんと活発な栄養士会活動を進めていきたいと存じます。ご支援、ご協力の程よろしく申し上げます。簡単ではありますが、会長就任のご挨拶とさせていただきます。



副会長 森光 大

平成30年度からも副会長をさせていただきます森光です。少子高齢化が進み、医療・介護保険が地域包括ケアシステムの構築にシフトチェンジしている昨今、(公社)岡山県栄養士会は新たなステージを迎えています。まずは、岡山県下の全ての管理栄養士・栄養士全員が会員になることを目指して活動したいと思っております。そして会員が異なるフィールドで業務を行っていると思いますが、「連携」の時代になっています。各職域の

人が患者及び利用者の情報をスマートに情報提供できるようなシステムの構築が求められています。同じ目の前の人を相手に栄養状態を「え～よ～にすること」で、健康に寄与し、健康長寿を延伸することが岡山県民一人ひとりの幸せにつながるものと考えます。岡山県栄養士会に所属せず、働いている人たちは、大丈夫なのでしょう？家族や親せきに医療福祉関係者がいて下手をすれば、訴えられる時代です。会員が一緒に勉強し、一致団結して岡山県民が健康長寿日本一を目指したいと思います。よろしく願いいたします。



副会長 下山英々子

この度の役員改選で副会長を拝命いたしました下山です。私は40年余り病院に勤務させていただいていますが、自分の所属する職域を越えて地域に暮らすすべ

ての人々の健康・栄養・食について活動を広げてまいりたいと考えます。

坂本会長を中心に、信頼され親しまれる管理栄養士・栄養士を目指して、微力ではありますが、皆様と一緒に頑張ってみようと思います。よろしくお願いいたします。



副会長 光森 麻里

「横のつながり」。この度の役員改選で副会長を拝命いたしました光森です。

岡山県栄養士会には若い頃から、「なかも」の編集委員だったり、岡山市支部役員だったり、多くの先輩方にお世話になりながら、なんとかここまでやってこられました。その頃からずっと思っていたこと。それが、「横のつながり」。昔病院にい

た頃は他の職域のことは全く知らず、学校勤務になるとまたそれ以外の職域についてはわからない有様。こんなことでいいのだろうか。でも、栄養士会の事務局に来ると、いろんな職域の先輩方から学ぶことはとても新鮮で勉強になって…。

自分ももっと勉強して皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

平成30・31年度の理事です

玉瀬支部 山口 明子

この度、公益社団法人岡山県栄養士の理事に就任いたしました。玉瀬支部では支部長を務めさせていただきます。

平成12年に介護保険制度が創設されてから18年が経過し、地域でも高齢化が年々進行していく中、私たちが地域に向けて発信していく事業内容も大きく様変わりしてきたように思います。栄養士として他職種と足並みを揃えて市町村の施策の展開に尽力できるよう、会員の皆様方に力を貸していただきたいと思います。

この栄養士会は会員の皆様方の会です。

活発なご意見とご提案を賜りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



東備支部 草谷 悦子

この度、東備支部支部長並びに栄養士会理事を務めさせていただく事になりました。これまで、栄養士の事業に参加させていただき、多くの方に出会う事が出来ました。

今後は、出会った方々と一緒に、管理栄養士、栄養士の資格を持っている方々が一人でも多く栄養士会員になり、仕事を辞めた後でも継続会員でいていただけるような魅力のある岡山県栄養士会にしていければと思っています。

今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



総社支部 堺 智恵子

この度、理事を務めさせていただくことになりました。

総社支部は総社市、早島町の2つの地域からなります。

かなり離れていて、働く環境や内容も違いますが情報交換を図りながら栄養士会の活動が出来ればと思います。

2年間頑張りたいと思います。

皆様のご指導ご協力をお願いいたします。



井笠支部 団迫 博美

97歳の祖父を筆頭に、1歳5か月の孫、出産を控えた娘、キン肉マンの息子。人生は食べることの連続であったとつくづく感じています。

栄養士として家族の健康を支えられてよかったと感謝です。長年、家族や施設での栄養士をしてきましたが、この度、他の職域の方々とともに交流を深め、食べることの大切さを伝えていくことになりました。

不器用な私ですが、皆様よろしくお願いいたします。



高梁支部 福田恵津子

特別養護老人ホーム白和荘が開所と同時に入社し、はや何十年が経ちました。

経験年数から言うとベテランの域ではありますが、恥ずかしながら中身が伴わず勉強不足を痛感しております。多床室50床から始まり、現在従来型80床・ユニット型40床に増えました。時代とともにご利用者のニーズも変わってきました。寿命が長くなるに従ってケアも変わってきました。いつまでも口から食べていただきたいと言う当たり前の事が、いかに大切な事が最近特に感じる様になりました。高梁支部では、今年度会員皆様の意見を取り入れながら楽しい事、スキルアップに繋がる事に取り組んでいきたいです。



新見支部 北川 京子

新見支部支部長を務めさせていただくことになりました。私自身は、病院に勤務しており、医療部会に所属しております。病院内においても多職種とチームとなり患者様

と向き合うことの重要性を実感することが多々あります。病院だけでなく家族や施設などの連携も欠かせません。

新見には、新見地域医療ネットワーク・新見市地域医療ミーティング促進協議会・新見健康づくり連絡会など様々な事業があります。哲西きらめき健康福祉まつりでは、今年は栄養ワンダーを合わせて取り組む予定にしています。新見市健康増進計画も今年度4月に新しくなりました。栄養士会として今何ができるかをテーマに、会員とともに活動を進めていきたいと思っています。



真庭支部 小山 珠美

この度、岡山県栄養士会の理事を務めさせていただくことになりました。医療・学校・福祉・公衆・地域の様々な職域の方々とネットワークを構築して連携をとり、情報交換をしながら、皆様と一緒にスキルアップしていきたいと思っています。一人でも多くの栄養士会員が増えるように、また、栄養士会に入って良かったと感じてもらえるような「なかま」作りが出来たらと考えています。微力ではありますが、栄養士会の活動を頑張りたいと思いますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



津山支部 橋本美由紀

今期も引き続き理事をさせていただくこととなりました。津山支部としてここ数年初めてのイベントや行事も多く、毎回賑やかに楽しく活動しています。



今年の初イベントとして地域の方々を対象とした「栄養ワンダー2018 in つやまきんちゃいほーる」に向け準備を進めているところです。県北津山では元気な栄養士・管理栄養士が求められています。地域の期待に応えるためにも、多分野の栄養士の橋渡し役を務めたいと思っています。新しく津山支部に入会された皆様もぜひ活動にご参加ください。皆様からの笑顔をお待ちしています。どうぞよろしくお願いいたします。

地域住民に
お役に立てる
ように！

勝英支部 林 里美

この度、岡山県栄養士会の理事を拝命しました。

今年度で栄養士5年目になります。まだまだ未熟で、理事としての役目をしっかり果たせるか不安ではありますが、経験や知識の豊富な諸先輩方とともに、会の運営に携われることを大変嬉しく思っております。

岡山県栄養士会がより良い組織となるよう尽力していく所存です。

どうぞよろしくお願いいたします。



岡山市支部 富岡加代子

支部活動をしっかりと発展定着させてくださいました渡辺寛子さんからバトンタッチいたしました。経験豊富な支部委員の皆様を頼りにお役目を果たしたいと思います。



さて、本会では多くの行事が企画運営されます。特に支部活動では地域の方々とともに“栄養・食のこと”を考える行事を多く企画しています。多職種協働はとても大切なことですが、他の職種に栄養問題を取られないように、まずは地域の方々に市民県民に「栄養士」を知っていただきましょう。

オギャッと生まれた時から在宅訪問が必要な方への最後のワンスプーンまで、お役に立てる会であるよう進めていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

倉敷支部 中村 博範

岡山県栄養士会の理事を前期に続き務めさせていただきます倉敷市支部（研究教育）の中村です。よろしくお願いいたします。これからの2年間は、岡山県栄養士会の中で会員増対策や研修会のあり方について検討していきたいと考えております。また、倉敷市支部では、地域包括ケアシステムの中での管理栄養士・栄養士の役割について考えていく必要があると感じています。地域ケア個別会議等では、医療や福祉の知識や経験をもった方の参加が不可欠となっていますので、まずはそのためのネットワークづくりが今後の課題です。力を合わせて頑張っていければと思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。



学校健康教育事業部 伊藤智奈美

この度、今年度の総会において理事に就任いたしました。現在、栄養教諭として安全安心な給食の提供、及び、生涯にわたって心身ともに健康な生活ができるよう、食の大切さについて、子ども達に日々伝えているところです。



これからの栄養士会での活動を通して、多方面で活躍されている栄養士の皆様とご一緒できる機会をもち、勉強させていただきながら視野を広めていきたいと思っています。微力ではありますが、少しでもお役に立てるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

公衆衛生事業部 湯浅 貴恵

この度、岡山県栄養士の理事を務めさせていただくことになりました。

様々な職域の方々と情報交換を図り、より多くの事を学ばせていただくとともに、会員の皆様のお役にたてるよう微力ながら頑張っていきたいと思っております。ご指導よろしくお願いいたします。



公衆衛生事業部 粟井由美子

公衆衛生事業部は、市町村・政令市・県の行政栄養士だけでなく、地域の健康づくりを支えてくださる多くの会員で構成されています。先輩方が地域の方々の健康と幸せを願い、たゆまず歩んで来られたからこそ現在の組織があります。その思いを引継ぎ、微力ではありますが、いただいた役割の中で視野を広げ前向きに活動していきたいと考えています。“自分らしく”をモットーに県栄養士会活動を通して、会員の皆さんとともにステップアップできるよう努めていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



研究教育事業部 中原真由美

私が日本栄養士の会員になって、約30年になります。学校給食の栄養士として30年間また保健所で食品衛生監視員として3年間勤めました。その後、岡山学院大学で教鞭をとって7年目になります。私の栄養士としての色々な経験が少しでも学生のためになればと考えて、毎日過ごしています。今まで岡山県栄養士会のお世話になるばかりで、理事などの役員を受けたことがなく、わからない事ばかりで戸惑っています。しかし周りの方に助けていただきながらなんとか任期一杯、頑張っていこうと思っています。どうかよろしくお願い致します。



勤労者支援事業部 本多 佳代

この度、勤労者支援事業部より理事に再任していただきました。私達が現場で「栄養の指導」をする対象者は基本的には勤労者であり、会員は企業、自衛隊、病院福祉施設、学校と様々な職場です。

岡山県栄養士会が開催する生涯教育研修会を中心とした研修会は、多様です。

会員が、この機会を利用しない手はありません。一人でも多くの方が入会し、より多くの仲間が研修会に参加し、互いに研鑽を積んでいかれることを願っています。



地域活動事業部 細川 良子

この度の総会におきまして、理事として2期目を選任していただき、責任の重さをひしひしと感じております。理事として担当することとして、災害支援対策体制の担当に引き続き取り組みます。大きく分けて①岡山県栄養士会の災害時のマニュアル改訂 ②岡県DATスタッフ養成の研修会を行います。

災害が少ない岡山ではありますが、大地震南海トラフ地震の発災の可能性が高まるなど、会として対応をあらかじめ決めておくことと、実際に県の協定に基づき動けるスタッフを養成しておくことは最低限必要であるので、理事はじめ、会員の協力を仰ぎながら進めていきたいと思っております。



医療事業部 市川 和子

今期で2回目の理事をさせていただきます。40年余り大学病院で病院の管理栄養士を務め、2年前より現職の川崎医療福祉大学臨床栄養学科で教鞭をとっております。私は、医師をはじめとする看護師・薬剤師・臨床検査技師・臨床工学技師・リハビリの皆様方と一緒にチーム医療をどこよりも先駆けて行ってきました。「教科書は生きた患者様」というのは、栄養部の職員はもとより学生にもそのように指導教育をしております。そして、大学に移った今も週に2回は栄養指導を行っております。最新の医療情報を常にジャストタイムで把握するためには、現場なくしてはありえません。医療事業部の皆様には、もっと患者さんのところに向いて正確なアセスメントに基づいたケアプランができ実践ができるよう今年度も微力ですが、頑張っていきたいと考えております。そして、皆さんの頑張りが少しでも診療報酬に繋げることができるよう努力したいと考えております。よろしくお願い致します。



福祉事業部 寺尾 幸子

「健康寿命の延伸」は、すべての管理栄養士・栄養士が担う最大の課題であると思います。栄養ケアマネジメントと言えはまだまだ歴史の浅い介護保険制度上の報酬に繋がるものですが、アセスメントPDCAサイクルで個々に食事摂取基準の算定ができる事、栄養ケア計画の立案ができる事など、日常生活のなかで栄養状態の把握ができるのは対象が乳幼児でも地域の人々においても同様です。

皆が福祉という場の栄養管理の本質を深く理解し専門職として信頼が得られるよう、岡山県栄養士会 の前進においてもさらに貢献していく所存です。



専務理事 竹内ひとみ

先日の総会において再選していただき、専務理事として4期目をむかえました。

皆様ご存知の通り、今年度で森会長が退任され、新しく坂本会長が就任されました。

これまでの経験を活かし、新会長の補佐ができればと思います。

気持ちも新たに、職務に取り組みますので、ご協力ご支援の程よろしくお願いいたします。



平成30・31年度

監事です



難波美智子



岡田 久史

東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内

◆こんなお悩みはありませんか？

- ・夜勤明け、体は疲労しているのになかなか眠れない。
- ・寝起きが苦手で起床時間ギリギリまで起きられない。
- ・睡眠時間は長いのに、眠りの質に満足できない。

◆睡眠セミナーを無料で開催しています。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した講師による充実したセミナーをご用意しています。

※東洋羽毛では、研修会や勉強会、学会でのコーヒーサービスもご提供しています。お気軽にご相談ください。

《睡眠セミナー実績》

- ◇第47回日本看護学会 在宅看護 学術集会
- ◇岡山県看護連盟 研修会(玉野・井笠・岡南・岡山西) 新採用者研修(岡山・津山・倉敷)
- ◇一般社団法人 岡山県助産師会
- ◇医療法人和風会 中島病院
- ◇済生会吉備病院
- ◇社会福祉法人全仁会 複合型介護施設ピースガーデン倉敷
- ◇医療法人社団あずま会 あずま会倉敷病院
- ◇社会福祉法人旭川荘 介護付有料老人ホーム結びの社ホーム
- ◇社会福祉法人岡山博愛会 特別養護老人ホーム アダムスホーム
- ◇医療法人紀典会 北川病院
- ◇公益財団法人慈圭会 慈圭病院
- ◇医療法人社団新風会 玉島中央病院
- ◇倉敷市立児島市民病院 その他医療施設、福祉施設多数



東洋羽毛中四国販売株式会社 岡山営業所

〒700-0845 岡山県岡山市南区浜野4-3-37

～お問い合わせはお気軽に～

フリーコール 0120-224711



VEGETABLES & FRUIT
S・K FOODS

野菜・フルーツ

エス・ケー・フーズ株式会社

〒701-0165 岡山市北区大内田756-2(岡山県総合流通センター内)

TEL (086) 292-5020

FAX (086) 292-5025

URL <http://www.skfoods.jp>

E-mail message@skfoods.jp

会長退任にあたって

森 恵子



私が前田前会長から会長を引き継いだのは平成14年の総会でした。前田会長は10年間会長として岡山県栄養士会を率いてくださいました。私も会員の皆様方の支持がある限り、10年は頑

張ってみようと会長を受けさせていただきました。10年過ぎて、70歳を限りに次の方へ、これも実現がかなわず、ここで新会長にバトンタッチができるようになりました。16年間、会員の皆様方のご協力の下、私達、管理栄養士・栄養士は、地域、保育園、学校、病院、高齢者施設などあらゆる場面で人々に寄り添い、悩みながら栄養の指導を行っていることに誇りを持って進んでまいりました。

16年を振り返ってみますと、まず、最初に取り組んだのは、平成17年に開催される岡山国体にむかって、国体標準献立の作成とスポーツ栄養の研修をしながら国体選手への栄養サポートです。私も剣道や銃剣道のサポートをしました。銃剣道のサポートで奈義の自衛隊の基地に入ったのもいい思い出です。平成15年には、日本栄養改善学会が開かれ、今と違った運営でしたので、岡山県栄養士会が総力をあげて協力をしました。

「栄養成分表示の店」登録事業が始まったのは平成16年です。今も、苦労をしながら一軒一軒お店の理解と、利用する県民に栄養成分表示の活用法の啓発を行っています。栄養ケア・ステーションが登場したのは平成17年、こうしてみると、様々なことに取り組んだ16年でした。これも、副会長、専務理事、支部長、事業部長、そして会員の皆様の協力があってこそその栄養士会でした。

さて、私が管理栄養士になったのは昭和43年ですから、50年管理栄養士の看板を掲げていることになります。昭和43年当時、栄養士法に書かれている管理栄養士の業務は、「複雑困難な栄養の指導の業」となっていました。「栄養士の仕事って給食を作る人、じゃあ、管理栄養士は何をするの」と叔父からたずねられて答えに窮したことがあります。

した。そもそも栄養の指導を業とするは、具体的な仕事としては何か、そこから、今までずっと、栄養士の業務は何か、私は一体何をすると悩み、考えてきました。

医師でもない、看護師、保健師でもない、薬剤師でもない管理栄養士の私にしかできないことは何か、AIが当たり前になった昨今、給食管理や献立作成はそちらに任せることが可能です。栄養指導と言っている食事指導も通り一遍の事なら少し栄養学をかじった人なら誰にでもできる、それでは、栄養士でなければできないことは一体何か。

管理栄養士・栄養士の業務の基本は、食べ物や食品の栄養素と人の体の栄養状態を結び付けて、食品や食べ方、料理を提案できる人、対象者の栄養アセスメントをその人の生活を含めてきちんとしたうえで、その人らしい食事や食生活を提案できる、ここが唯一、栄養士でなければできない業務ではないかと考えました。

そこに到達するためには、管理栄養士・栄養士の資格を得てからがスタートです。常にたゆまない研鑽と努力が必要であり、そこに栄養士会の存在価値があります。

一人ひとりの管理栄養士・栄養士の力は微々たるものですが、その一人ひとりがそれぞれの思いをもって栄養士会に結集し、研鑽することで思いもかけない力を得ることになります。

管理栄養士・栄養士が専門職として日々進化を遂げて、定款にあるように県民の公衆衛生の向上に尽力し、それぞれの場所で「いてもらいたい栄養士」になっていくことによって、栄養士はますます輝いていけることでしょう。

皆様におかれましては、新会長の下、栄養士会活動に対し、引き続き、力強いご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。



平成30年度受賞者名簿

○岡山県栄養改善事業功労

長年にわたり栄養改善事業に従事し、特に功労のあった栄養士に贈られます。

(1)岡山県知事表彰

受賞者	支 部
森 野 陽 子	岡山市

○岡山県栄養指導業務功労

長年にわたり栄養指導業務に従事し、特に功労のあった栄養士に贈られます。

(1)岡山県知事表彰

受賞者	支 部
八 藤 敦 子	東 備
橋 本 美由紀	津 山
宇 野 富美子	岡山市

(2)岡山県保健福祉部長表彰

受賞者	支 部
小 寺 俊 子	岡山市
大 平 良 恵	高 梁

○岡山県栄養士養成功労

長年にわたり栄養士養成の業務に功労のあった方に贈られます。

(1)岡山県保健福祉部長表彰

受賞者	支 部
藤 井 わか子	津 山

○福田道子賞

栄養・食育事業の普及浸透を図り、後継指導者育成のため有能な人材に贈られます。

受賞者	事業部名
安 原 幹 成	医 療
谷 口 啓 子	公衆衛生



受賞
おめでとうございます

福田道子賞を受賞して

特別養護老人ホーム 藤田荘 元木香緒里

昨年、名誉ある賞にお選びいただき誠にありがとうございました。このような栄誉は自分に縁のないものと思っておりましたので、驚きが大きかったです。受賞のきっかけになったのは、全国老人福祉施設協議会で発表した当施設での食事支援でした。これは、施設の多職種で行っている支援であり、外部に発信する際には多くの方のご尽力があって出来たことなので大変恐縮でした。

特養で働きだした頃、病院とは違い受診や特別な事情がないと施設外に出られない暮らしに違和感がありました。藤田荘で働くようになった私は、入居者の食事満足度調査を給食委員会で実施した際に、ある程度のところで満足度が頭打ちになることに悩んでいました。そんな時に日本栄養士会福祉事業部が以前まで行っていた中堅者研修に参加し栄養ケア計画におけるICFシートについて学ぶ機会に恵まれました。そこで自分が、『食べる』

ということを本人の全体像を見ず栄養摂取に偏って見ていたかに気づきました。食事を通じて介護保険の目的である自立支援をするためには、個人の出来ることに着目する必要があることがわかりました。元々、藤田荘では、多職種の連携がしやすく自由な風土があったから出来た食支援だと思います。また、岡山栄養マネジメント研究会にて抄録・スライドの作り方・発表の練習など、外部への発信の仕方を森光先生はじめ皆様にご指導いただきました。

特養で暮らしている高齢者は、過ごされてきた人生と大切にされているものが一人ひとり違うため必要な食支援の視点が異なります。人生の最終段階に、ご本人及びご家族によかったと思っていただけるように、これからは職場内だけでなく岡山県栄養士会の素敵な先輩・皆様と一緒に学び取り組んでいきたいと思っています。

福田道子賞をいただいて

～管理栄養士としての背中が見せられるようこれからも日々研鑽～

研究教育事業部 真鍋 芳江

昨年、栄えある福田道子賞をいただき、これまで関った全ての方々への感謝の気持ちと同時に、さらにここからの精進を決意し、身の引き締まる思いでいっぱいになりました。あれから1年、「受賞にふさわしい1年だったのか？」と問いかけてみると、まだまだ、もっともっとできることがあったのではないかと感じています。

私は管理栄養士課程の教員として管理栄養士を目指す学生と日々関わっています。20代後半、目標であった管理栄養士の資格を得たひよこ管理栄養士の私は、偉大な先輩方の姿を間近で見られる喜びと、管理栄養士養成に携わることへの使命感とで、その背中をがむしゃらに追いかける日々でした。30代になり少しずつ仕事を任せていただく機会をいただきましたが、まだまだ管理栄養士としての自信はなく、少しでも先輩方に近づけるように先輩方の真似をし、チャンスがあれば色々なことにご一緒させていただく中で管理栄養士と

しての姿勢を学び取る日々でした。40代になりやっと自分の中の管理栄養士像が明確になってきたように思います。私が目指す管理栄養士像は、いつも見ている、いつでも寄り添える、いてくれると安心する、そんな「寄り添う管理栄養士」です。

管理栄養士の仕事は、「おぎゃ～」と産まれる前のお腹の中から亡くられるその時までの全てのライフステージにおいて、食べることを通してその方の「生きる」をサポートする尊い仕事です。だからこそ「寄り添う管理栄養士」でありたいと思っています。管理栄養士の仕事は、職場も仕事内容も多岐に渡りますが、この尊い仕事をいかに学生に伝えるか、学生と対峙しながら考える毎日です。どんどん学生と歳が離れていく中で、少しでも管理栄養士としての背中が見せられるよう、これからも栄養士会活動を通して日々研鑽を積んでまいりたいと思っています。

平成30年度公益社団法人岡山県栄養士会定時総会開催

津山支部 橋本美由紀

平成30年6月9日(土)、オルガホールにおいて「公益社団法人岡山県栄養士会定時総会」が開催されました。

森会長の「資格を得たところがスタート。常に努力と研鑽を積み管理栄養士にしかできないことを求め続ける必要がある。一人ひとりの力は小さいがその力を結集すると思いがけない力となる。専門職として管理栄養士・栄養士であることを誇りに思っ引き続き会を盛り上げていきましょう」という開会の挨拶で始まりました。

来賓として、岡山県医師会会長 石川紘氏、岡山県栄養改善協議会会長 中島玲子氏、岡山県保健福祉部長 荒木裕人氏をお迎えし、「岡山県民の生活習慣病対策をすすめていく中で健康寿命の延伸が大きなテーマであり、パートナーとして科学的エビデンスに基づく助言とさらなる活躍を期待している」などのご祝辞を頂戴しました。

その後、岡山県知事表彰、岡山県健康福祉部長表彰、福田道子賞の表彰行事が行われました。受賞された皆様、おめでとうございます。

定時総会は、出席正会員133名、書面表決1,054名であり、総会員数1,697名の2分の1を満たし有効に成立しました。第1号議案・公益社団法人岡山県栄養士会理事及び監事選任の件、第2号議案・公益社団法人日本栄養士会代議員選任の件、第3号議案・平成29年度貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)、財産目録承認の件、第4号議案・公益社団法人岡山県栄養士会名誉会員承認の件について審議の結果、原案通り承認、可決されました。続いて岡山県栄養士会名誉会員の表彰行事が行われました。受賞された皆様、おめでとうございます。

さらに理事会報告、平成29年度事業報告・監査報告の後、平成30年度基本方針・事業計画・予算についていずれも賛成多数で可決されました。又新理事25名、新監事2名、新代議員7名が信任され定時総会は終了しました。

情報提供として「栄養情報提供書の活用について」医療事業部市川和子部長よりお話がありました。

栄養情報提供書の意義はところ変わっても対象者が安心してプレの無い栄養管理を遂行できることであり、栄養管理の目指すものが明確に示され、病院や施設、学校、在宅などいろいろな場所に変わっても一貫した栄養管理を行うことができ、安心して生活ができることを目的としている。アレルギー食の対応等学校並びに保育園などへの栄養情報提供書の必要性が増しているとしてその症例を示された。厚生労働省の様式を元にそれぞれの領域で必要に応じて記載内容を工夫すること、また宛先は管理栄養士、栄養士とすること、受け取った後はどのように活用されたかの返書を返してほしい。栄養情報提供書は管理栄養士、栄養士の地位確保のため職域を超えて情報を共有するツールであり活用の推進が急務であると話された。

特別講演は「管理栄養士・栄養士に期待すること」と題した、厚生労働省健康局健康課栄養指導室長清野富久江氏によるお話でした。

平成25年度から開始している健康日本21(第二次)において、栄養・食生活にあげられている項目うち、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日のものの割合の増加、野菜摂取量の増加、食塩摂取量の減少につ

いては、目標達成に向けてより取り組みを強化していく必要がある。中でも塩分減少を加速化する必要がある、ターゲットを明確にした啓発が必要となる。また2020年東京オリンピック・パラリンピックに加え、栄養サミットが日本で開催されることを踏まえ、個人へのアプローチだけではなく社会全体を高めていく環境を整備する必要がある。

厚生労働省では、「健康寿命をのばしましょう。」をスローガンに、国民全体が人生の最後まで元気に健康で楽しく毎日が送れることを目標とした国民運動としてスマート・ライフ・プロジェクトを展開している。「健康寿命をのばそう!アワード」受賞もあり、企業協働の取り組みの一環として実施している。ぜひ賛同いただき一緒に取り組んでいただきたい。また「おいしく減塩マイナス2g」「毎日プラス1皿の野菜」「毎日のくらしにwithミルク」などの啓発ツールはどなたでもダウンロード可能でありぜひ活用していただきたい。詳しくは健康日本21(第二次)分析評価事業HPに掲載している。

現在、食事摂取基準2020年度版策定に向け協議しているが、高齢化社会のさらなる進展への対応として低栄養予防及びフレイル予防のための目標量、また個人差に対応できるように年齢だけではなく体重あたりの摂取基準等新たな指標を設定するなど活用のしやすさに十分配慮するよう検討を重ねている。

管理栄養士・栄養士に求められることは、食べることを通じて「人」をトータルでみることができること、科学的根拠と実践を結びつけることができること、また課題をあらゆる社会資源を使って解決する仕組みづくりを行い、成果を見える形にしていくこと等が重要であり、多分野の管理栄養士・栄養士間の連携強化が必要である。

最後に「栄養の専門職として科学的根拠に基づき一人ひとりの生活やくらしに寄り添う管理栄養士・栄養士の皆さんの活躍を期待しています。」とエールをいただきました。

終わりに臨時理事会報告があり、坂本八千代新会長より新理事が紹介されました。森恵子前会長には長年にわたり私達をリードいただきましてありがとうございました。

栄養の専門家として自分達に何ができるかの「見える化」を意識して、自己研鑽を積み会員の皆様とともに活動して参りたいと思います。



平成29年度事業報告並びに平成30年度事業計画

学校健康教育事業部では、文部科学省が出す「学習指導要領」に基づき、他教科との関連を図りながら、授業や給食時等に於いて、食に関する指導を行うことで、児童生徒の食への興味関心を高め、日々の食生活の実践へ活かすことができる力を育てています。

また、市町村や各学校ごとに学校給食での残食量や家庭での生活習慣に関する調査等を行い、児童生徒の実態把握をして授業にフィードバックできるよう進めています。

5月23日には岡山ふれあいセンターに於いて、文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 清久利和食育調査官の「学校における食育の推進」というテーマで講演がありました。

「国の第三次食育基本計画」「新学習指導要領における食育の推進」「栄養教諭を中核とした食育推進のPDCA」についてのお話がありました。そして講演後、総会を開催しました。

私達栄養教諭・学校栄養職員に求められている職務の重責を感じつつ、児童生徒の健やかな成長のために頑張っていきたいと思います。

学校健康教育事業部 光森 麻里



公衆衛生事業部は、地域住民の公衆衛生を担う会員、市町村や保健所の行政栄養士等で組織しています。主な活動は、会員の資質向上、情報交換を目的に、年4回研修会を開催しています。

昨年度は、「乳幼児健診でのアレルギー対応」、「効果的な高血圧症の予防対策～生活習慣病の改善に向けて～」、「地域包括ケアシステムにおける行政栄養士の関わり」、「熊本地震から考える備えの重要性～栄養士の役割～」をテーマに実施しました。講演に加えて、グループワー



クや災害備蓄食の試食をして学びを深めました。

今年度は、5月に県及び市町村の健康づくり計画の推進と評価を考えることを目的に研修会を開催しました。今後は、慢性腎臓病の重症化予防、高齢者の低栄養予防等についての研修会を企画中です。業務に直結した内容にするとともに、会員が参加したら、元気がでる研修会にしたいと思っています。皆さん、奮ってご参加をお願いします。

公衆衛生事業部 山口 育子



平成29年度研究教育事業部としての活動は、新人会員に対して管理栄養士・栄養士の仲間づくり、情報交換により幅広い輪を広げることを目的とし、卒後1～2年の方を対象に新人交流会を5月13日に開催しました。その主な内容は、①岡山県栄養士会について ②年会費の使い方 ③生涯教育研修会についてお話しさせていただき、その後、おいしいケーキと飲み物で、交流会を行いました。新人会員14名ご参加いただき、先輩からの体験談、養成校からのメッセージ、情報交換を交えて始終和やかな雰囲気の中で会を進めることができました。アンケートを実施し、その中の意見として、「とても楽しく、

ためになる交流会でした。」「Caféタイムが楽しかったです。」「恩師の先生とたくさんお話が出来てとても良かったです。」など、また今後についての意見として「同じような勤務先の人と話す交流会をしたい。」「今後3～4年目の会などもあればいいなと思いました。」がありました。その他にも多くの良いご意見をいただくことができました。今後もこのような交流会を開催したいと考えておりますので、一人でも多くのご参加よろしくお願いします。

研究教育事業部 中原真由美

平成29年度の勤労者支援事業部の活動は、「勤労者の生活習慣病予防対策」「多職種との連携について学び、それを生かす」を目標として研修会を開催いたしました。

研修会では、近年の糖尿病の有病者は増加し、働き盛りの勤労者への指導の重要性を痛感しました。多職種との連携はお互いの信頼信用が重要であり、コミュニケーションなしでは何事も前に進めないと改めて思いました。会員にとって有意義な研修会であったと思います。

今年度は、29年度の実施した研修会に繋がる事業を展開してまいります。多職種、他職域の会員と連携し学びが業務に活かせるよう計画をいたします。

研修会開催予定

5月19日(土) スキルアップ研修会 (開催済)

8月25日(土) 災害時における介護食

12月16日(土) ストレス耐性を高める食事

勤労者支援事業部 本多 佳代

平成29年度事業報告並びに平成30年度事業計画

平成29年度事業報告

5月28日 地域活動・福祉事業部並びに岡山県歯科衛生士会合同研修会
7月1～2日 「はぐくみ岡山」
おぎゃっと21 in コンベックス
9月23日 コープフェスタ2017 コンベックス
平成30年2月3日 「はぐくみ岡山」
おぎゃっと21 in イオンモール倉敷
毎年、参加させていただいている「はぐくみ岡山」おぎゃっと21 in コンベックス開催では、内容として子育てパパ・ママ向けの離乳食相談、野菜クイズをスタッフ延べ11人で担当実施。その際、新たな取り組みとして、期ごとの離乳食フードモデル展示をし、離乳食相談者



が2日間合わせて221人、野菜クイズ243人と盛況だった。コープフェスタではこれも新たな取り組みだが、医療生協の「すこ塩」ブースで減塩についてアドバイスを実施。合同研修会では栄養士・OT・歯科衛生士の講師を招き実習を交えた小児の摂食嚥下・ブラッシングについて実施。多職種連携で熱気あふれる研修会だった。



平成30年度事業計画

例年の事業に加え、今年度の事業ではスキルアップ研修会と恒例になりつつある地域活動・福祉事業部並びに歯科衛生士会合同研修会で栄養・歯科の両面から災害時対応の研修会を行う。

地域活動事業部 細川 良子

平成30年度事業計画

平成30年度は、地域連携の推進を目標に掲げ、医療分野に止まらず地域在宅ケア会議にも積極的に参加し、栄養ケアステーション並びに栄養情報提供書の実践を目指す。

平成30年5月26日：第1回医療事業部研修会開催

糖質について（奥和之先生） 排便調整について（松本啓志先生）
経腸栄養剤について最新情報と臨床の症例提示など

7月：医療事業部実態調査実施予定

8月5～8日：小児サマーキャンプ（閑谷学校）

8月26～27日：日本医療事業部中四国研修会

9月22日：医療・福祉の合同研修会

*ぜひ、福祉部門に保育園の栄養士の参加を募る（会員増対策）

平成31年2月吉日：日本栄養士会医療事業部中四国会議（岡山担当）

*事業計画推進会議

その他として、生活習慣病重症化予防活動にも協力する。更に、生涯教育の研修をもっと有意義な研修とするための検討も行う。

医療事業部 市川 和子

今年度も引き続き、福祉事業部の代表をさせていただくことになりました森光です。よろしくお願いします。福祉事業部では、平成30年度介護保険改正に伴いまして、入所及び通所サービスにおける栄養マネジメントや栄養改善加算の実施率向上とマネジメントの質の向上を目指して研修会を開催する予定です

まず5月9日には、新人の方を対象に栄養マネジメントの基本から、既存の会員対象に平成30年度介護保険改正対策の研修会を行いました。多くの質問をいただき、有意義な研修会が出来たと思います。次に7月10日には、経口移行・維持加算を行うための研修会を予定しています。協賛のメーカーさんと一緒にグループに分かれて夏の介護食をみんなで作って、ビュッフェ形式で試食していただきます。午後からは、摂食嚥下の基本的な理解からミールラウンドのポイントまで、厚生労働省から示された新しい書式を用いて説明する予定です。

さらに9月21日には、毎年恒例になりました医療事業

部と合同で連携の研修会を予定しています。退院連携に加算が新たに創設されたこともあり、いかに行うかが課題になっています。また10月21日には、地域活動事業部と歯科衛生士会の合同で、災害時対策の研修会を計画しています。特別養護老人ホームや介護老人保健施設等で働く人は、一人で悩んでいる方が多いと思います。わからないことを仲間で話し合えましょう！研修会に声を掛け合って参加していただき、出来れば未会員の人も会員に誘っていただいて、みんなで情報交換をしたり、制度について勉強していきたいと思っています。と同時に、「自分も役員になって栄養士の仲間の役に立ちたい。」と思っている方がいらっしゃったらお声を掛けてください。新しい発想を歓迎したいと考えています。みんなで勉強してスキルアップすることで、利用者や県民に質の高いサービスが提供できるようになることを祈っています。

福祉事業部 森光 大

岡山県栄養士会福祉事業部研修会 ～平成30年度介護保険改正にどう対応するか～

福祉事業部 窪田 紀之

平成30年5月9日、岡山県立図書館にて岡山県栄養士会福祉事業部研修会が開催されました。午前の部は、平成30年4月の介護報酬改定により新設された、管理栄養士が関わる新5つの加算について、あいの里クリニックの森光大氏より講義を受けました。

栄養アセスメントとして、介護保険施設、取り分け特別養護老人ホームでは血液検査の回数が少ないため、皮膚や爪、髪などのフィジカルアセスメントにより栄養状態を判定することが求められます。新設された「褥瘡マネジメント加算」や「排せつ支援加算」通所における「栄養スクリーニング加算」では、以前にも増して他職種との連携が重要で、カンファレンスにより対象者の栄養に関する問題点を多角的に捉え、栄養改善に繋げていくことを学びました。

また「再入所時栄養連携加算」では、介護保険施設の管理栄養士が医療機関での栄養指導に同席し、再入所後の栄養管理に関する調整を行うことが評価されるため、より一層介護保険施設と医療機関との連携が求められることも学びました。

午後の部では、山陽寿荘の寺尾幸子氏より対象者の事例から必要栄養量の設定、栄養ケアプラン作成のポイントを学びまし

た。基本情報だけでは分からない食べ方や食事の姿勢、何を残しているかなどの食事の状況は、実際に喫食している様子を観察してケアプランに挙げていくこと、利用者が主体となり自己実現が可能になるプランにすることや評価が可能であるプランにすることなどを講義していただき、会場からも多くの意見が挙がりました。

後半の質疑応答では、事前に受けたアンケートからの質問事項や普段の業務で疑問に思っていること、加算算定に向けての進め方などを会場からも意見をいただき、情報を共有しました。

今回の介護報酬改定では、多職種連携がより求められることとなりました。施設内や地域において管理栄養士が栄養ケアに参加できるように、自己研鑽を続けたいと感じました。

岡山県栄養士会では、会員の皆さんが知りたいことや学びたいことを、研修会のテーマとして取り上げることが出来ます。より良い栄養業務を行うためにご意見をお寄せください。また、同じ職場で栄養士会に入っていない方へも積極的に研修会への参加を勧めてください。ともに学び、ともにステップアップしていきましょう。



平成30年岡山県栄養士会医療事業部第1回研修会開催

医療事業部 柿木亜希子

平成30年5月26日土曜日、川崎医科大学現代医学教育博物館にて、岡山県栄養士会医療事業部研修会が開催されました。平成30年度に入り最初の研修会で、参加人数85名でした。参加者の中には、栄養士会に入会する新人栄養士の姿もみられ、初々しく懐かしく思い出されました。会の始まりにあたり、市川部長の力強いご挨拶があり身の引き締まるスタートになりました。

午前の部は川崎医療福祉大学医療技術部臨床栄養学科教授 奥和之先生より『「糖」を効率よく病態に生かす方法～七変化する糖について楽しく学ぶ～』と題した講演がありました。

炭素記号が並ぶスライドに学生時代を思い出し、懐かしい気持ちになりました。甘味料の種類と特性を学び、糖を病態に応じて使い分けることや、最近話題のレジスタントスターチについて学び、温かいご飯より冷えたご飯のほうが食後高血糖を抑制できる。「お父さんの身体のことを思って冷やご飯を出しているのよ。」のスライドには笑いが起こり、和やかな講演となりました。

午後の部では川崎医科大学消化管内科学准教授 松本啓志先生より『「排泄」に関する最新情報～便秘と下痢を学ぶ～』と題した講演がありました。

高齢化社会、ストレス社会、炎症性腸炎、食物アレルギーなどが原因で排便異常症状に悩んでいる人が増えています。便秘の食事指導に重要なキーワードは食物繊維、過

敏性腸症候群には低FODMAP食が有効であると学びました。食事と消化管疾患は医食同源であり、仲立するのが腸内細菌であること。私共、医療現場で働く管理栄養士の課題の一つである便秘と下痢対策について、改めて腸内フローラを整えることが排便コントロールに有用であると学びました。

その後、『排便に効果的な栄養管理の在り方(経腸栄養剤の工夫)』と題し、学術と臨床での症例提示がありました。

各業者の学術担当による最新の話題と製品の特徴と管理栄養士による実臨床での使用上の工夫点とその効果について知ることができました。講義や紙面情報からの知識をより症例を通して具体的、実践的に考えることができました。

盛り沢山の内容で、どのセッションでも活発な質疑応答、意見交換が行われ有意義な時間を過ごすことができました。早速、明日からの業務に活用できるとしています。医療事業部ではこれからも会員のスキルアップと栄養士間の交流の場として研修会を企画したいと考えております。

最後になりますが、栄養士会にまだ入会されていない栄養士さんがいたら、ぜひ、声掛けをしていただき、どんどん仲間を増やしていけたらと思っています。会員の皆様は、年に2回以上はこのような研修会に参加していただきたいと切に願っております。



は ば け 栄 養 士

「科学的な視点をもった管理栄養士を目指して」

岡山県立大学 保健福祉学部栄養学科 津嘉山 泉



私は、平成30年3月に岡山県立大学博士後期課程を卒業し、4月より母校である岡山県立大学にて、助教として勤務しています。これまで、癌や炎症を引き起こす原因となる脂質に着目

し、食品機能性の探索を行ってきました。また、その応用研究として、機能性を付加した嚥下調整食の開発を目指した研究も行っており、現在も同様のテーマで研究を行っています。一方、教員となった4月からは、学生へ指導する立場となり、「優れた管理栄養士育成」の面で、自分に何ができるのか、学生に何を伝えたいのかについても考えるようになりました。

教員や管理栄養士としての経験はわずかですが、これまで研究に従事してきた中で、「食」を広い視野で捉え、科学的に考え、応用することで、より信頼性のある根拠に結び付くということを学びました。また、研究を行う中で、仮説から導かれる答えは見方によっては無数に存在するため、結果と真実を見極めるための深い知識と柔軟性が必要だということを痛感しています。このことは、研究に限らず、管理栄養士にとっても共通する部分があるのではないのでしょうか。管理栄養士は献立を作る人だと一般的に思われがちですが、その業務を行うにあたっては、栄養学の知識、コミュニケーション能力等、求められるものは非常に多岐にわたります。最近では、食べ物をテーマにした健康情報番組も多く、「〇〇を食べたら××に良い」という紹介をよく見かけますが、その中には、必ずしも科学的な根拠が十分でないものもあり、さらには、SNSにより、間違えた情報が拡散されていることもあります。これからの管理栄養士に求められるものの一つは、氾濫する情報の中から、正確な情報を取捨選択する能力ではないかと思

います。そのためには、科学的根拠に基づいた正しい知識と、広い視野をもつ必要があります。教育と研究に従事する管理栄養士として、少しでも学生をサポートできるように、私自身も努力していきたいと考えています。

学生時代は、多くのことを経験できる時期なので、自身の視野を広げるという意味でも、学生には、沢山のことを経験してほしいと思います。私自身、経験豊富というわけではありませんが、食に関するボランティア活動や、栄養指導等をさせていただく機会もありました。その中で特に魅力を感じたのが、食を科学的視点からアプローチする研究でした。研究はとても地道な作業であり、努力が全て結果に繋がるものではありません。実際私も成功や失敗を繰り返しながら今でも研究を続けています。初めての問題に直面した時は苦勞もありますが、真剣に問題と向き合い最後まで取り組むことで少しずつですが成長できていると感じています。また大学院での5年間に、国内外で研究成果を発表させていただく機会があり、そこでは最新の研究情報を得るだけでなく、国内外の研究者と交流することができ新しい世界を広げることができました。

夢に向かって突き進む学生の成長を間近でサポートできることが、大学教育に携わる管理栄養士の魅力だと思います。教員として働いた数か月、自分の未熟さを痛感する日々ですが、多くの方にサポートいただいていることを実感しています。これからもさらに勉強を行い、経験を積み、自分自身も科学的に物事を捉え、広い視野をもって問題を解決できるように努力していきたいと思っています。また、サポートしてくださるたくさんの方々への感謝を忘れず、教員として、管理栄養士として私ができることを精一杯努めていきたいです。

事務局だより

平成30年度理事会報告

1. 第1回理事会平成30年4月21日

承認事項

- 1) 職務執行状況(会長・専務理事)承認
- 2) 新入会員,再入会員,退会賛助会員の承認
- 3) 平成29年度事業及び会計報告(審議後承認)

審議事項

- 1) 平成30年度定時総会(日程・立候補届け等)
- 2) 平成30年度事業「栄養の日」事業等
- 3) 栄養士会費の値上げについて
- 4) 会員増対策
- 5) 研修会時の緊急連絡ツール
- 6) 入会特典

2. 臨時理事会平成30年6月9日

承認事項

- 1) 代表理事、業務執行理事選定
- 2) 副会長選定
- 3) 常任理事選定

3. 第2回理事会平成30年7月1日

承認事項

- 1) 新入・再入会員の承認
- 2) 職務執行状況(会長・専務理事)承認

審議事項

- 1) 定時総会反省
- 2) 理事の役割と平成30年度会務分掌について
- 3) 平成30年度事業計画
- 4) 理事会・常任理事会の開催日、開催時間
- 5) 生涯教育のDVD受講について
- 6) 無料職業紹介所の取扱職種の範囲等の変更

☆本年度管理栄養士国家試験に合格された方、おめでとうございます。管理栄養士番号を事務局までお知らせください。

☆平成30年度栄養士会費納入がまだの方は早急をお願いします。

☆氏名・住所・勤務先・所属事業部・管理栄養士など変更があった方は、事務局までお知らせください。Web入力された方も事務局まで連絡ください。

事務局の夏休みは、8月11日(土)～15日(水)

お知らせ

H30年度入会 賛助会員紹介

社 名	郵便番号	所 在 地	電話番号	業務内容
合同会社 ど根性ファーム	709-1215	岡山市南区片岡2468	086-420-0711	デイサービス等への食事提供(クック チル方式にて)、凍結含浸法を用いた 特別介護食の提供
(株)富久屋	710-0801	倉敷市酒津48-6	086-421-8866	冷凍食品卸し販売
(有)山本精肉本店	708-0022	津山市山下40	0868-22-3344	食肉製造・加工
(株)ヤヨイサンフーズ 中国支店	732-0824	広島市南区的場町 1-3-6広島場の場ビル4階	082-264-2601	業務用冷凍食品販売(学校、病院、老 健、産業給食、惣菜市場、外食市場)



毎日暑い日が続きますが皆さんお元気でお過ごしでしょうか。
6月の総会で役員の新旧交代が行われました。長年栄養士会にご尽力いただいた役員の皆様、本当に
ありがとうございました。
編集委員も一部交代し、会員に役立つ「なかま」を目指し頑張ってまいります。
皆様からの投稿、ご意見、ご感想をお持ちしています。

編集委員 下田 裕恵

尾家産業株式会社

〒700-0953

岡山市南区西市146-1

TEL(086)243-0311

Fax(086)243-0326

